



平成 30 年 4 月 24 日

各 位

会 社 名 株式会社ファインシンター
代表者名 代表取締役社長 井 上 洋 一
(コード番号 5994)
問合せ先 経理部長 小 林 努
(TEL 0568-88-4355)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 29 年 10 月 30 日に公表いたしました平成 30 年 3 月期（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）の通期連結業績予想および配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1)平成 30 年 3 月期通期連結業績予想値の修正（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

| | 売 上 高 (百万円) | 営業利益 (百万円) | 経常利益 (百万円) | 親会社株主に 帰 属 する 当 期 純 利 益 (百万円) | 1 株当たり 当 期 純 利 益 (円) |
|------------------------------------|----------------|---------------|---------------|----------------------------------------|----------------------------|
| 前 回 発 表 予 想 (A) | 38,000 | 2,300 | 2,100 | 1,100 | 249 円 90 銭 |
| 今 回 発 表 予 想 (B) | 38,900 | 1,790 | 1,590 | 460 | 104 円 51 銭 |
| 増 減 額 (B-A) | 900 | △510 | △510 | △640 | — |
| 増 減 率 (%) | 2.4 | △22.2 | △24.3 | △58.2 | — |
| (ご参考) 前 期 実 績 (平成 29 年 3 月期) | 37,476 | 2,246 | 2,049 | 1,077 | 244 円 75 銭 |

(2)修正の理由

売上高については、国内はトヨタ向け等の新規部品受注増、またタイはトヨタ向け SUV 車、中国は日本車全般で販売量が増加したことにより前回予想を上回る見込みとなりました。

一方、利益面については、売上高の増加はあるものの、米国子会社に新設した第 2 工場における新規品の生産準備費用負担増や要員確保難に伴う生産非効率等により、前回予想を下回る見込みとなります。

また、当期の業績を踏まえて米国子会社における繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、平成 30 年 3 月期決算において繰延税金資産の取崩しを行い、法人税等に 247 百万円計上することといたしましたので、上記の通り修正いたします。

2. 配当予想の修正について

(1) 修正の内容

| | 年間配当金 | | | | |
|----------------------|----------|----------|----------|--------------|--------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| 前回予想 (平成30年4月27日) | 円 銭 — | 円 銭 — | 円 銭 — | 円 銭 40.00 | 円 銭 75.00 |
| 今回修正予想 | — | — | — | 30.00 | 65.00 |
| 当期実績 | — | 35.00 | — | | |
| 前期実績 (平成29年3月期) | — | 6.00 | — | 40.00 | — |

※平成28年10月1日付で普通株式5株を1株に併合しています。平成29年3月期の期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しています。株式併合後の基準で換算した平成29年3月期の1株当たり年間配当額は70円となります。

(2) 修正の理由

当社は、株主の皆様への長期的利益還元を重要な経営課題の一つと考え、安定配当を行うことを基本としつつ、企業体質の強化及び今後の事業展開を勘案したうえで業績に対応した配当を行うこととしております。

当期の期末配当金につきましては、「1. 業績予想の修正について」に記載いたしました、業績の下方修正を踏まえ、誠に遺憾ではございますが、前回予想から10円減配し、1株当たり30円に修正させて頂くことといたしました。

(注) 上記の業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき作成した見通しであり、実際の業績は予想数値と異なる結果となる場合があります。

以 上